

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成29年2月

1. 対象事業	堺市三宝処理区 合流式下水道緊急改善事業				
2. 実施主体名称	堺市				
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度				
4. 対象事業の進捗状況					
計画に基づき、下記の内容について実施した。					
①汚濁負荷量の削減 ・三宝下水処理場内の雨水滞水池(7,300m ³)を設置(1箇所(実績)／1箇所(計画))					
②公衆衛生上の安全確保 ・大和川ポンプ場(12,000m ³)の沈砂池・ポンプ井を雨水滞水池として有効活用、 三宝下水処理場内の雨水滞水池(2,400m ³)を設置(2箇所(実績)／2箇所(計画)) ・熊野地区分流化(5ha(実績)／5ha(計画))及び三宝下水処理場内の消毒設備の新設					
③夾雑物の削減 ・雨水吐室の細目スクリーン設置(4箇所(実績)／4箇所(計画))					
5. 目標の達成状況と達成の見通し					
【堺市合流式下水道緊急改善計画の3つの目標】					
①汚濁負荷量の削減 ⇒ 年間放流負荷量を分流式下水道並とする。					
②公衆衛生上の安全確保 ⇒ 全ての吐口で未処理放流水等の放流回数を半減させる。					
③夾雑物の削減 ⇒ 全ての吐口で夾雑物の流出を極力防止するため、スクリーンを設置する。					
【目標に対する達成状況】					
改善項目	評価指標	事業着手時点	設定目標	事業終了時点	達成状況
①汚濁負荷量の削減	年間汚濁負荷量	790t/年	741t/年	731t/年	設定目標達成
②公衆衛生上の安全確保	吐口毎の未処理下水の年間放流回数	536回/年	267回/年	194回/年	設定目標達成
③夾雑物の削減	スクリーン設置箇所数	0箇所	4箇所	4箇所	設定目標達成
6. 対象事業の整備効果の発現状況等					
・対策後は放流水質のBODが40mg/L以下(34mg/L)を達成できている。 ・平成25年度～平成27年度の降雨回数(158回)に対して、三宝下水処理場内の雨水滞水池の稼働した回数(154回)のうち、未処理放流が生じた回数(96回)は削減しており、雨水滞水池により未処理放流回数の削減とともに未処理放流水の消毒により公衆衛生の安全確保に寄与したと考えられる。 ・熊野地区(5ha)の分流化は、平成20年度で完了し、現在は宅内の分流化を進めている。					
7. 事業の効率化に関する取り組み状況					
・夾雑物対策として、SPIRIT21に選定されたスクリーンを採用し、可能な限り無動力式を導入することで、事業費及び維持管理費の削減に努めている。 ・分流化、滞水池及びSPIRIT21の新技术による対策を比較し、経済性や対策効果から分流化+滞水池を選定した。 ・大和川ポンプ場の沈砂池・ポンプ井を雨水滞水池として有効利用することで、大幅な事業費の削減とともに、新たな施設建設の抑制に努めた。 ・ホームページや出前講座を利用して、合流式下水道の問題点、改善の必要性についての啓発活動を随時行っている。					
8. 今後の方針					
・事業完了により当初の改善目標については達成したところであるが、今後はさらなる水環境の改善及び保全のため市民、事業者の協力のもと、積極的に情報提供に取り組んでいく。 ・今後本市で控える、雨水の排水先の変更に対しても引き続き対策を進め、「環境の保全及び潤いと活力ある地域づくり」に貢献する。					